

住民と共に環境活動を継続



河川敷整備ボランティア

山形センチュリー
ライオンズクラブ

奥山 末次郎

ライオンズ国際協会の目的と道徳綱領は、私たちに「世界の間相互理解の精神を培い発展する」という義務を課している。

世界のライオンズクラブ会員百三十五万人（日本のライオンズクラブ会員十三万人。内山形県内の会員二千二百余名）は、国境や海をこえて、互いに力を合わせ、この使命の達成に取り組んできた。言葉、文化、政治的立場の違いこそあれ、世界の人々は、善意と相互尊重に基づく高度な行動規範が確立された社会に暮らしたいと願っている。

構想を支援する山形センチュリーライオンズクラブは、四十四名の会員で、設立五周年を迎えている若い団体である。

「本音でふれ合うクラブの絆」「汗と足で築こうアクティビティ（奉仕）」が会長としてのスローガンである。

毎月二回の定例会開催時、例会講演として、山形県めだかの学校校長佐藤政則氏から、「自然と共生」と題し、メダカの研究とその繁殖などに取り組んでいる現状を拝聴し、当時の

環境保全委員のメンバーが中心となって、子どもたちが、自由に釣りや生き物の観察など出来る環境がないものかと模索していた。

山形市東沢地区住民の方々が、平成十四年に東沢小学校創立百周年の記念すべき年に、小学校周辺の河川敷を、子どもたちのために何か利用できないものかと考え、浮かびあがったのが「ピオトープの里ガンドパーク」構想であった。「ガンド」とは、近くに位置する「雁戸山」にちなんだ。その情報を得て環境委員会が、ピオトープ（動植物の生息空間）にメダカなどが共生する場所にする支援協力ボランティアを申し入れた。

東沢地域づくり推進協議会会長石澤實氏が発起人となり、学校、地区民の方々が中心となって、交流の場、融和を図れる広場を計画立案し、行政当局に要望書を提出して、その整備事業が認可承認された。地域主導型でライオンズクラブがボランティア活動を行うのは、県内では初めてのことだった。

場所は、東沢小学校の北側に架かる棒原橋

から、三百ほど上流のえん提までの馬見ヶ崎川原両岸、名前の由来となる地域のシンボル「雁戸山」が望めるすばらしい場所である。野外で遊ぶたくましい子どもにも成長してほしいとの願いから、子どもたちが、自由に遊べるプレーパークや、自然観察のポイントになるピオトープ、コスモスロードなどさまざまな「顔」をもつ親水空間づくりを目指している。

ホタルやメダカなどが住む場所を配置し、併せてピオトープを作る事は県内では初めての試みであり、木板など廃材を置き子どもたちが自らの手で遊具を作れるような環境を整備する。

一方、右岸には桜を植栽し、コスモスロードを作り、春から秋にかけての住民の交流や、憩いの場所として期待されている。既に整地を終了し、平成十七年完成の予定である。

石澤会長は、「自然の中での遊び方を知らない子どもが増えていく。自由な遊び場をつくり、地域の人々に身守られながら、たくまし

Value Sight 河川敷整備ボランティア

ピオトープランドパーク構想図



く成長してほしい」と願っている。四半世紀前までは、緑が溢れ、馬見ヶ崎川の清流があり、まるで「となりのトトロ」に出てくるような原風景の中で子どもたちは存分に自然と戯れ、学びながら生活していたような気がする。

る。しかし現在では「川は危険!」「野山は危ない!」と、大人の都合で子どもたちの遊びの芽を摘んでしまっているのではないか。子どもたちは大人が考えつかない自由な発想をもっている。今、進めている事業の目標

が山形センチュリーライオンズクラブのメンバーは毎年、三役の交替、担当委員会のメンバーの環境アクティビティ（奉仕）は、当クラブの継続奉仕活動として決定されている。より一層地域住民の方々と一体となって奉仕活動への取り組みを強めていき、地域のボランティア活動を推進していきたいと考えている。

日本ライオンズクラブ分布
(2003年11月30日 国際協会集計)

地区番号		クラブ数	会員数
331	A 北海道(道央地区)	75	3,048
	B 北海道(道北・道東地区)	100	3,560
	C 北海道(道南地区)	62	2,466
	小計	237	9,074
332	A 青森	67	2,435
	B 岩手	57	2,089
	C 宮城	81	2,023
	D 福島	82	2,514
	E 山形	57	2,237
	F 秋田	57	1,809
	小計	401	13,107
333	A 新潟/群馬	140	5,592
	B 茨城/栃木	141	4,684
	C 千葉	126	3,706
	小計	407	13,982
330	A 東京	197	5,853
	B 神奈川/山梨/東京	199	6,374
	C 埼玉	111	3,265
	小計	507	15,492
334	A 愛知	114	6,448
	B 岐阜/三重	92	4,570
	C 静岡	84	3,869
	D 富山/石川/福井	98	4,697
	E 長野	55	2,672
	小計	443	22,256
335	A 兵庫(東)	116	3,686
	B 大阪/和歌山	192	7,882
	C 滋賀/京都/奈良	122	5,004
	D 兵庫(西)	67	2,767
	小計	497	19,339
336	A 徳島/高知/香川/愛媛	151	7,000
	B 鳥取/岡山	104	4,376
	C 広島	107	4,428
	D 鳥根/山口	109	4,340
	小計	471	20,144
337	A 福岡/長崎	119	5,483
	B 大分/宮崎	94	3,469
	C 佐賀/長崎	83	3,361
	D 熊本/鹿児島/沖縄	142	4,817
	小計	438	17,130
	合計	3,401	130,524

ライオンズの精神は「社会奉仕に精進すること」である。わ

る。「おせっかい」にならない程度に「地域の子どもは地域が育てる」という考えも、東沢の大人の一員として思うところである。

奥山 末次郎 (おくやま・すえじろう)

(有)奥山労務電算システム代表取締役。
昭和7年7月10日生まれ。
山形センチュリーライオンズ第5代会長。

連絡先
山形市若宮63
TEL : 023-645-4438
FAX : 023-645-2263